

新



謹

賀 笑



新年明けましておめでとうございます。皆さんにとって平成22年が笑顔あふれる年になることをお祈りいたします。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。

年

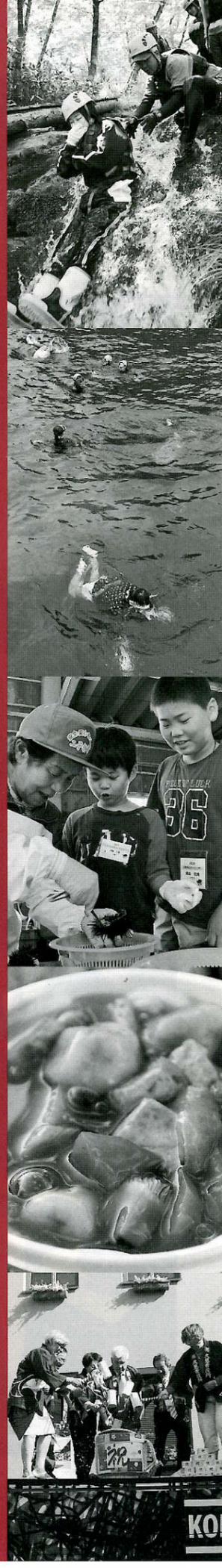


賀

主な内容

新春座談会 2～5頁
世界の旋律 聴衆を魅了 6～7頁

表彰者の紹介 8頁
第3回市民おらほーる劇場 16頁



新年明けましておめでとうございます。年々盛り上がりを見せる教育旅行に、すべてが手作り山車の久慈秋まつりをはじめ、全国闘牛サミットの開催や、姉妹都市締結20周年を迎えたりトニア共和国クライペダ市との交流など、去年は地域内外の交流がさらに進んだ年になりました。今年の新春座談会のテーマは「交流」です。交流活動の実践者である5人の方々に、交流事業の盛り上げによる市の発展の可能性について、熱く思いを語っていただきました。(5ページまで・本文中敬称略)

交流

この先の可能性

語りだす5人の実践者

▼市長 新年明けましておめでとうございます。本日は教育旅行や観光などの交流活動に携わっている皆さんと一緒に、市の発展について考えていきたいと思えます。

地域の豊かな資源を生かし、内外との交流を進めることは大変重要なことだと考えています。その点、皆さんは地域を愛し、魅力を広めようと活動している方々ばかりです。まずは昨年を振り返りながら、皆さんの活動内容や思いをお聞かせください。

▼谷地 郷土食の製造や特産品弁当の販売をしながら教育旅行を受け入れています。教育旅行では、都会の子もたちに自然体で田舎の生活を体験してもらえよう心掛けています。最初は心配もありま

したが、今は次のシーズンが待ち遠しいほど受け入れを楽しみにしています。

▼大向 先輩からの誘いを受けて昨年7月から海女として潜り始めました。海女センターの営業期間が終わった後は物産展に参加し、久慈市のPR活動もしています。

▼太田 普代村のくろさき荘で支配人を務めながら久慈地域食産業ネットワークの一員として、食の魅力を高め、活性化させるために取り組んでいます。食と観光を絡めながら民間主導で地域を盛り上げたいと考えています。

▼吉田 (有総合農舎山形村)で、地域の素材を使った惣菜を作り、地域の雇用と産業をおこすために取り組んでいます。大地を守る会では短角牛や海産物の仕入れを担当し、都市部の消費者と地域の生産者との交流も進めています。

▼市長 情熱を持ち、それぞれの分野で活動を展開されていることに敬意を表します。教育旅行や観光に携わることで地域の魅力に改めて気付いたことなどはないでしょうか。

▼谷地 教育旅行で訪れた子どもたちは、水がおいしい、星がきれい、やさしい人が多くと笑顔をあふれさせます。その笑顔を見て、わたしたち

が住む地域には宝がたくさんあるなと気付かされます。互いに学び、気付き、良い経験となるのが教育旅行です。久慈市の活性化のためにも必要だと思います。海の体験を加えることで、さらに盛り上がると思っています。

▼大向 海女の実演を観るために全国から多くの方がきてくれますが、初めて久慈を訪れた人は海がきれい、景色が良いと言ってくれます。海女の活動を始めて久慈は豊かなところだと改めて気付かされました。

▼市長 おいでください。方々の言葉によって、地域の魅力を発見したり再認識することがあるのです。人に魅力を伝えようとする場合、まずは自分たちが地域を好きでいることが大前提だと思います。

▼細谷地 久慈青年会議所で地域貢献や地域のつながりをつくるための活動をしています。昨年もビーチサッカー大会やスクールギャラリーなどの事業を行いました。

また姉妹都市派遣団の一員として、クライペダ市での文化交流事業にも参加しました。今後は地域だけにとどまらず国際的な交流も展開していきたいと思っています。

▼吉田 食べ物や景勝地だけでは交流は続かないと思っています。都市部の人間関係は希薄になっていますが、久慈市の方は皆、温かくもてなしてくれそうです。この「人」の存在が、交流が長く続いている要因だと思います。



座談会で熱く語り合った皆さん(左から)細谷地茂陽さん、吉田和生さん、谷地ユワノさん、山内隆文市長、大向美咲さん、太田俊一さん

大地を守る会では短角牛の母牛を維持するため、一昨年から短角牛応援団の募集を始めました。一口5万円のところ2年間で約300人も応募がありました。都会の人たちからは地域の人たちとの関係を深めていきたいという希望、欲求を感じます。

大地を守る会の消費者と生産者の交流が始まって28年。この先も久慈市には豊かな心を持ち続けてほしいです。50年、百年と関係を続けていきたいと思っています。

▼市長 都市に住む人々が求める久慈市の最大の魅力は「人」なのですね。この地域には、そんな魅力ある人たちが育んだ食文化がたくさんあります。1月9日からは八戸地域、二戸地域と連携して「北のコナモン博覧会」が開催されます。食文化を切り口に地域の魅力を発信する取り組みについて考えをお聞かせください。

▼太田 八戸で約30年過ごした経験から言葉や食など八戸と久慈は違和感がないことに気付きました。太平洋に面している八戸と久慈の主力は海産物だと思っています。今後、北のコナモン博覧会のような催事に海産物を加えてはどうでしょうか。コンブ、ホヤ、ワカメなどを粉末にして、うどんやそばに練りこむ。これを一部ではなく地域全体で取り組めば、コナモンで海山全体のPRができると思います。

細谷地茂陽さん



●ほそやち・しげはる (中央・40歳)

Profile

㈱久慈青年会議所で地域貢献、地域のつながりづくりに向けた多くの事業に携わる。平成19年には理事長を務めリーダーシップを発揮するなど多方面で活躍する。満年齢となり平成21年、同所卒業。



太田俊一さん



●おおた・しゅんいち (小久慈町・54歳)

Profile

久慈地域食産業ネットワーク企画委員会委員長。八戸市内の百貨店に勤務した経験から物流など豊かな知識を有し、食の魅力アップと外貨獲得に向けて取り組む。普代村の国民宿舎くろさき荘の支配人。



吉田和生さん



●よしだ・かずお (東京都・49歳)

Profile

㈱総合農舎山形村専務取締役。大地を守る会では理事を務める。毎年「短角牛の里と都市を結ぶ集い」を開き、地方と都市の交流を進めるなど、日本の第一産業を守るための活動を展開する。



▼市長 海産物との組み合わせはおもしろいですね。工夫することで食と地域の魅力をさらに発信できそうです。さて今年は米国フランクリン市と姉妹都市締結50周年を迎えます。国際社会が進展する中、海外の都市と交流し互いの文化に理解を深めることも大切だと考えています。細谷地さんは昨年のクライパダ市での活動で、どのようなことを感じましたか。

▼細谷地 現地は熱烈的な歓迎ムード。日本語を学ぶ現地の学生が特産品の販売などを手伝ってくれました。現地の人とふれあう、すばらしい経験となり、子どもたちの見聞を広める意味でも国際交流は重要だと感じました。今後も交流を重ね、新しい文化や歴史を学ぶことで新しい価値観や可能性を広げられるのではないかと思います。

また相手に伝えるためには自分が地元のことや、もてなしの方法を学ぶことが必要だと気付きました。今後、機会があればホームステイも受け入れてみたいと思います。

▼市長 海外の人とふれあう

ことで大切なことに気付き、学ぶこともありませぬ。自分の家族と同様に接するのがもてなしの基本なのでしょう。自然体で地域に迎え入れることが最高のもてなし方かもしれないですね。

打ち出す活性化への道

▼市長 本市にある山里海の豊かな魅力を広めるには、皆さんのような考え方に立って自ら行動する人たちが必要不可欠です。輝く人たちのつながりが地域の魅力を高め、地域内外で交流人口の拡大につながるのかなと思います。

交流によって市を活性化。この可能性をさらに大きく広げるには今後どういったことが必要だと考えますか。

▼谷地 教育旅行の受け入れ民家を増やすことと体験メニューの工夫が必要だと思えます。教育旅行で、まちが元気になることを市民全体に意識していただくことも必要です。これからは受け入れの楽しさも伝えながら輪を広げていきたいと思っています。

▼大向 昨年はマスコミの方々から海女を話題に取り上げていただき、多くの人たちに注目してもらったことができました。これまで先輩たちが大切に伝えてきた海女の伝統を守り続けるには、多くの若い世代が参加し、つなげていくことが必要だと思います。今後はわたしたち自身も積極的に声を掛けて仲間をつくらせていきたいと思っています。

▼吉田 都会に住む人のあこがれは、海女や漁師、農家など技術を持つ人で、その世界を体験することを求めています。今後は厳しい冬の時期も含め、春夏秋冬を通じて生活を体験してもらえらるプログラムが必要だと思えます。

交流の次のステップは子どもたちの世代です。交流を重ねた子どもたちは大人になっても久慈市のファンでいてくれます。消費者も生産者も30年後を意識して仕掛けていければと思います。

▼太田 ヤマブドウや野田塩、海産物など、久慈地域には県内外で売りに出せるものがたくさんあります。現在、それぞれ個別に進めている販路

拡大の取り組みを、八戸も入られてエリア全体で行うことが必要だと思えます。

関東圏のお客さんにとって市町村の境は全く関係ありません。食だけでなく観光も日本の中の地域イメージを考えてPRするべきだと思えます。例えば三陸海岸は全国で通用するイメージの一つ。大きな視点に立って仕掛けることが必要だと思えます。

▼細谷地 久慈青年会議所もフランクリン市の青年会議所と姉妹組織として交流してきた歴史があります。交流が盛んだった30年ほど前は、中高生を中心とした文通や特産品の交換のほか、現地を訪問して交流したといえます。

国際交流は子どもたちだけではできません。行政をはじめ大人であるわたしたちの力が必要です。市民全体で姉妹都市への理解を深めるため、より情報発信も必要になってくると思います。

▼市長 取り組みの必要性を改めて感じました。それぞれの交流事業を盛り上げることで、市の発展に向けた扉も開かれるものだと思います。



●やまうち・たかふみ (58歳)

Profile

まめぶの家代表として郷土料理の伝承、普及に努めながら、毎年多くの教育旅行生を受け入れる。11月30日には日本コナモン協会の熊外真菜会長と交流。食文化の交流、食育活動にも情熱を注ぐ。

谷地ユワノさん



●やち・ゆわの (山形町・56歳)

Profile

平成21年、小袖妃香理さんとともに小袖北限の海女の会の入会。25年ぶりの新人海女に注目が集まり、全国に話題を飛ばした。先輩たちが守ってきた海女の伝統継承と魅力の発信に意欲を燃やす。

大向美咲さん



●おおむかい・みさき (宇部町・19歳)

Profile

平成21年、小袖妃香理さんとともに小袖北限の海女の会の入会。25年ぶりの新人海女に注目が集まり、全国に話題を飛ばした。先輩たちが守ってきた海女の伝統継承と魅力の発信に意欲を燃やす。

年の幕開け抱負と期待

▼市長 それでは最後に、今日の感想と新たな年に抱いた抱負、まちへの期待などをお聞かせください。

▼谷地 農村民泊は子どもたちに食を伝える一番良い手段だと感じています。今後も食を通してふれあい、久慈市の伝統料理や食の大切さを伝えていきたいと思っています。

▼大向 地域を学びながら、海女の活動を通して久慈市の魅力を多くの人に伝えていきたいです。みんなで協力して久慈市をもっと全国に押し出してほしいと思います。

▼吉田 久慈市と大地を守る会とで今後も対等な関係をつくらせていきたいです。市には交流に向けたいろんな架け橋を作っていただきたい。その後、自分たちが頑張ることによって新たな展開が生まれるのではないかと思います。

▼太田 今年12月には東北新幹線が青森まで開通します。青森や弘前は観光客を引っ張る力がものすごく強い。久慈市も負けずに二戸、八戸、宮

古の3つの線で観光客を引っ張ってきてほしいです。八戸も喜んで協力してくれると思います。久慈市がリーダーシップを取って誘客を進めてくれることを期待します。

▼細谷地 皆さんからパワーと活動のヒントをいただきました。この出会いを生かして一緒に何かやれたらうれしいです。市民運動で人の輪を広げていくのが青年会議所の使命。今後も一人でも多くの人と出会い、ふれあい、まちの魅力が再発見していききたいと思えます。

▼市長 皆さんから大いに参考となる貴重なお話をいただきました。人輝き、活力みなぎる久慈市の実現に向け、改めて頑張っていきたいという気持ちになりました。本日はありがとうございました。

新春座談会 おわり

座談会終了後も話はつきません。今年1年、交流のさらなる盛り上がり期待できそうです。出席者の皆さんありがとうございました。

実践者の熱い語りで 発展の扉が開く

振り返る10年 歩み出す一歩

平成11年2月3日の開館以来、芸術文化の活動拠点として、アンバーホールはさまざまな芸術文化情報を発信してきました。開館当初から館長と音楽監督を務めるアリオン音楽財団の江戸京子理事長に、これまでの10年と今後の抱負について、お話をうかがいました。

世界一流を久慈の地に
今後も「最上」を届けたい

世界のどこに出しても通用する水準の高い音楽を、より多くの市民の皆様がお聴きになれる機会を提供するアンバーホールの役割は大きいと思います。音楽専門家としての経験や情報を使って、常に一流として世界に通用する音楽家たちへの出演依頼をしてきました。アンバーホールの館長・音楽監督として、市民の方々に最上のコンサートをお届け

するよう心掛けてまいりました。これまでアンバーホールではクラシックを中心にさまざまな公演を行ってきました。中でも開館記念事業での「リトアニア・フェスティバル（久慈市・クライペダ市姉妹都市提携記念事業）」と、今回の「開館10周年記念水戸室内管弦楽団久慈公演」は、聴衆の皆様から特に大好評を得たと感じております。

参加した音楽家たちはホルの音響の良さ、久慈市の皆様の温かい歓迎ぶりに大変感謝しております。このことが平成12年以来9年ぶりとなる小澤征爾指揮水戸室内管弦楽団の再公演実現につながったのだと思います。10周年という節目を迎えたアンバーホールは芸術文化活動の発展に向けて、これから

からも歩みを進めて参ります。市民の皆様は、世界に通用する音楽を引き続き提供できるよう願っております。またアンバーホールにお越しになられていない方々にも、心を豊かにし、潤いを与え、生きる喜びを感じさせてくれる生の音楽の素晴らしさをぜひ堪能していただきたいと思っております。



アンバーホール館長
江戸京子さん

Profile
ピアニストとして活躍し数々のコンクールで受賞。多くの国際コンクールで審査員も務める。1985年には(財)アリオン音楽財団を設立し、理事長に就任。若手音楽家の育成や地方ホールの自主事業のサポート、海外の文化支援など多方面で活動している。



右/小澤征爾さん(中央)と世界で活躍する演奏家が、心を揺さぶる美しいハーモニーを奏でました

上/9年ぶりの公演に期待で胸をふくらませ、ホールに向かう観客
下/会場を埋めつくした1200人



10th memorial concert
アンバーホール開館10周年記念水戸室内管弦楽団久慈公演

世界の旋律
聴衆を魅了

アンバーホールの開館10周年を記念した水戸室内管弦楽団久慈公演は11月29日、同ホールで開かれました。同楽団が久慈で公演を開くのは平成12年以来9年ぶり。10周年という節目を迎えたアンバーホールに、世界に誇る美しい旋律が響きわたりました。

同楽団は、世界中から支持される小澤征爾さんが指揮をふるい、世界で活躍する音楽家が演奏する室内オーケストラです。チケットは発売開始

早々に完売。この日、会場には公演を今か今かと待ちかねた1200人が、市内外から詰め掛けました。開演前から抑えきれない聴衆の期待でいっぱいになった会場。小澤さんと演奏者がさっそうとステージに登場すると、客席からは歓喜の拍手がわきおこりました。

公演プログラムはモーツァルトの「ホルン協奏曲第3番」、「交響曲第39番」など3曲。美しく躍動的にふるわれる指揮が導き出す見事なハー

モニが聴衆を魅了しました。心を揺さぶる感動の旋律に、時間の流れさえも忘れて聴き入る1200人。演奏終了後、会場中から飛び交った大きな拍手に、小澤さんや演奏者は笑顔で手をふり応えていました。

小澤さんは「素晴らしい演奏家が必死に練習を積んでくれた。皆、良いお客さん。ホルの音の響きも前回訪れたときよりさらに良かった気がする。ぜひまたお願いしたい」と、すがすがしい表情で再演を誓っていました。



橋本裕美さん、夕工さん(盛岡市)

▶小澤征爾さんの指揮を初めて見ました。音色はもちろん全体の動きも美しい。ぜひまたアンバーホールに来たいです。

Interview



川村圭司さん(盛岡市)

▶すごいメンバー。何度も来ていますがアンバーホールの音響や催しは良いですね。また足を運びたいです。



欠畑千穂さん(久慈高2年)

▶吹奏楽部ではクラリネットを担当。素晴らしい演奏を聴くことができ、勉強になりました。また練習を頑張ります。



水戸室内管弦楽団

茨城県水戸市にある水戸芸術館の専属楽団として平成2年に誕生。小澤征爾氏が音楽顧問、指揮者として運営にあたっている。オーケストラのメンバーは世界的な活躍を続ける国内外約30人の音楽家。世界有数の室内管弦楽団として世界中から評価されている。



第一人者が語る 大型クラゲの大発生

広島大学教授

うえ 真一

漁業に深刻な打撃を与えたエチゼンクラゲなどの大発生。12月10日、現状調査のために久慈市を訪れた、クラゲ研究の第一人者でクラゲの発生予測や制御に向けた技術開発に取り組んでいる上真一広島大学教授から発生の原因や今後の見通しなどをうかがいました。

■発生の原因は
エチゼンクラゲなどの大型クラゲが大発生した原因は、発生源である中国沿岸部の環境変化だと考えられます。経済発展に向けた開発が招いた事態だと見えています。

■発生の見直し
毎年のように大発生することが予想されます。今回のような大発生が当たり前のようになるかもしれません。

■今、求められていること
命の恵みである海を人の営みが崩れてしまっています。この事実を中国政府に知ってもらわなければなりません。魚には国境がありません。東南アジアの海の環境保全と漁業の持続を目指す国際的な取り組みが求められています。最前線にいるのは漁業者の方々。まずはみんなで声を上げ行動することが必要です。

11月末現在、定置網に入網したクラゲは約72万8千匹。漁業への総被害額は7,200万円に上るなど、その被害は深刻です。

保育園の入所申し込み

平成22年度の受け付けを開始！

保育園や子育てのことなど、気軽に相談ください。子育て支援課（☎52-2169）

■申し込みは1月22日まで

平成22年4月1日から保育園への入所を希望する方は、次により申し込みください。

入所申込書などの書類や各保育園の入所案内は各保育園と子育て支援課（市役所1階）にあります。保育園の情報は市ホームページにも掲載してありますのでご覧ください。

▼受付期間 1月6日（水）～22日（金）まで

▼申込場所 入所第1希望の保育園 ※市外の保育園への入所を希望する場合は子育て支援課に申し込みください。

▼提出書類 ①入所申込書 ②就労証明書など

▼新規申込者には面接も

平成22年度から新たに保育園への入所を希望する方には面接があります。次のとおり面接を行いますので、ご都合に合わせてお越しください。

▼面接日時 2月1日（月）～5日（金）9時～16時

▼面接場所 子育て支援課（市役所1階）

一時保育

冠婚葬祭や病気などで一時的に保育できなくなった乳幼児を預かる「一時保育」があります。12月1日現在、受け入れている保育園は次のとおりです。

- ◆久慈（☎53-2088） ◆久慈湊（☎53-2375）
- ◆宇部（☎56-2102） ◆大川目（☎55-3038）
- ◆いなり（☎53-4551） ◆畑田（☎55-3550）
- ◆ひばり（☎53-4487） ◆平山（☎53-2857） ◆
- ◆門前（☎52-4340） ◆川貫（☎52-0311） ◆山口（☎55-2411） ◆長内（☎53-2582） ◆小袖（☎54-2246） ◆侍浜（☎58-2220）



おいしさ巡るスタンプラリー 北のコナモン博覧会を開催！

そばやうどん、ラーメンなど主に「粉」を使った料理を関西圏では「コナモン」と呼びます。久慈地域やその周辺でも古くから粉を素材とした食べ物が発達し、粉食文化が根付いています。

北のコナモン博覧会は、八戸・久慈・二戸圏域の粉もの料理を取り扱う飲食店・販売店を巡るスタンプラリーです。参加者には抽選でプレゼントをお贈りします。皆さんもこの機会においしく食べ歩きしてみませんか。

▶期間=1月9日（土）～3月22日（月）まで

▶会場=コナモンを取り扱う飲食店・販売店158店（八戸圏域85店、久慈圏域27店、二戸圏域46店）

参加する際は、スタンプラリー参加店や観光情報いっぱい「北のコナモン博覧会ガイドブック」を忘れずにお持ちください！

▶ガイドブックの設置場所（設置は1月初旬を予定）=◆圏域内の道の駅◆圏域内の市役所・町村役場◆主な観光施設◆スタンプラリー参加店



表彰

活動と努力が認められ、多くの方々から表彰されました。受章者の皆さんおめでとうございませう。

褒章 遺族追賞

統計調査に貢献



元統計調査員 川原 要次郎さん
（大川目町・享年80歳）

農林業センサスなど統計調査への多大な貢献が認められ、本年度、褒章の受章対象となっていた故川原要次郎さん（7月8日死去）の妻サカエさんに、賞状と銀杯が贈られました。

12月11日、山内隆文市長から伝達を受けた長男の幸夫さん（写真左）は「休みなく働いていた父のすごさを改めて感じる」と感慨深げに話していました。

少年補導委員 成人善行表彰

非行防止に尽力



市少年センター補導委員 戸川 進さん
（畑田・57歳）

賞は驚きです。わたしたちの活動を認めてもらい心から感謝します。

見回り中、少年たちへの対応に苦労したこともあり、健全育成のためにと勇気を出して声掛けを続けてきました。受賞を機に初心に立ち返り、久慈市の未来と明るい社会づくりに向けて今後も取り組んでいきたいと思ひます。

Profile
少年補導委員歴23年。非行防止活動を行う久慈地区BBS会にも設立当時から所属している。非行の未然防止の積極的な取り組みが全国で高く評価され受賞。

社会福祉功労者 厚生労働大臣表彰

地域福祉を推進



市民生・児童委員 上 平明 さん
（山形町・60歳）

活動は一人ではできないものではありません。今回の受賞も周りの皆さんの協力のおかげです。

一人暮らしの高齢者が増え、普段からの安否確認がさらに重要になってきました。高齢者の相談相手になることで、心の安心を支えていければ。元気である限り、今後も活動を続けていきたいと思ひます。

Profile
民生・児童委員歴約30年。市民生児童委員協議会の副会長として地域の推進役を務めるなど、地域福祉の向上に尽力。多年にわたる活動が全国で高く評価され受賞。

県小学生人権書道コンテスト 優秀賞



左 東山里咲さん
右 滝澤美空さん
（長内小5年）

県小学生人権書道コンテストで長内小学校5年の東山里咲さんと、滝澤美空さんが優秀賞を獲得しました。

12月3日、盛岡地方法務局二戸支局から一人人権擁護委員に委嘱された東山さんは、市人権擁護委員らとともに市内のスーパーマーケットで街頭啓発。チラシやカレンダーを配り、人権を守る大切さを訴えました。東山さんは「差別がないまちになってほしい。困った人がいたら助けてあげたい」と笑顔で話していました。

いわて農林水産振興協議会会長表彰 意欲ある担い手賞



右 田村 芳明さん
左 八千代さん
（夏井町）

酪農を営む田村芳明さん、八千代さん夫妻は12月15日、いわて農林水産振興協議会会長表彰「意欲ある担い手賞」を受賞。徹底した衛生管理等の取り組みが評価されました。

小さな親切 実行章



宇部中学校
（菅野次郎校長・生徒32人）

宇部中学校は12月3日、小さな親切運動県本部（代表・高橋真裕岩手銀行頭取）から小さな親切実行章を受章。10年前から年に1回行っている三陸鉄道陸中宇部駅や国道45号沿いでの清掃奉仕活動が評価されました。

冬を満喫 出発進行！

三陸鉄道こたつ列車が運行開始

12月19日、寒い冬を温かく楽しめる、三陸鉄道（山口和彦社長）のこたつ列車の運行が始まりました。



温かいこたつに入り 笑顔を見せる乗客

同日開かれた出発式で山口社長は「寒い冬ならではのこたつの旅を堪能してほしい」とあいさつ。ホームでは大黒舞が披露され、約25人の乗客をにぎやかに送り出しました。青森県三沢市から訪れた小西学さんは「冬の景色と地域のもてなしが魅力」と笑顔を見せていました。同列車は3月まで土日祝日に運行。問い合わせは三陸鉄道久慈駅（TEL52-0177）へ。



大黒舞でお見送り



体験をもとに飲酒運転の凶悪性を訴えた大崎さん



現状を報告し、追放を呼び掛けた新沼交通課長



壇上に熱い視線を注ぎ、決意を新たにする参加者



大きな声で大会宣言を読み上げた大谷地くん



参加者の注目が集まる中、藤原久慈警察署長(右)に飲酒運転追放誓約書を手渡す門ノ澤消防団長

悲劇を追放固く団結

飲酒運転追放を誓う久慈市民大会

飲酒運転追放を誓う久慈市民大会は12月14日、約300人が参加しアンバーホールで開かれました。

はじめに山内隆文市長が「飲酒運転追放の決意を広げよう」とあいさつ。市消防団の門ノ澤正浪団長は団員655人分の飲酒運転追放誓約書を久慈警察署の藤原明署長に提出しました。同署の新沼久治交通課長が飲酒運転が多発する久慈地域の現状を説明した後は、平成12年に飲酒運転事故で娘を亡くした大崎礼子さん（二戸市）の特別講演。大崎さんは悲惨な事故の様子を切々と語り「悲劇を繰り返さないためみんなで取り組んでほしい」と強く訴えました。

最後は大谷地 萌くん（荷軽部小5年）が大会宣言を読み上げ、全員で「飲酒運転をしない、させない」ことを固く誓い、追放に向けて団結しました。

まちの話題をおすそ分け 広報リポーターの突撃取材！

年末で警戒強化 防ごう飲酒運転



チラシなどを配って啓発する隊員ら

12月15日、防犯や交通安全の呼び掛けを強化する年末年始特別警戒活動（1月3日まで）が始まりました。同日、市交通指導隊の隊員らは手分けして市内の飲食店を回り、飲酒運転撲滅に向けて協力を呼び掛けました。（生平隆リポーター）

津波に備えて 避難路点検！

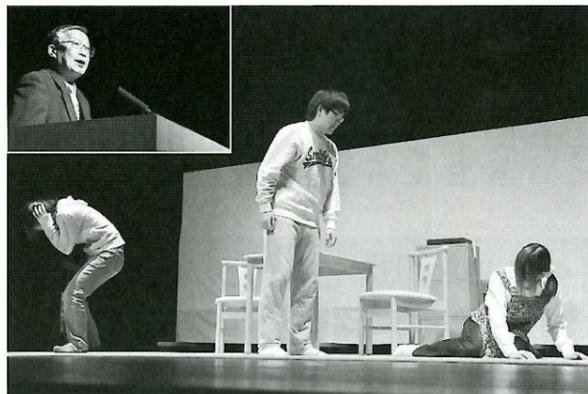


寒い中、真剣な表情で地域を点検する参加者

久慈地域の安全・安心促進計画（津波）の策定に向けた第2回ワークショップは12月19日、沿岸9地区で実施。これは発生が予想される宮城県沖地震に備えたもの。約120人が真剣に地域の課題や避難路を点検しました。（小倉利之リポーター）

地域で防止深まる理解

ストップ・子ども虐待



児童虐待の背景や子育ての難しさ、相談することの大切さを訴えた劇団ちゃねるの演劇 左上/実践する活動を報告した小野寺さん

ストップ・子ども虐待は12月12日、アンバーホールで開催。久慈地区の民生・児童委員など250人が参加し、児童虐待の予防や対策に理解を深めました。

県内の虐待の現状などを説明した県福祉総合相談センターの中野幸二朗児童相談課長は「近くで心配な方がいたら市町村に相談し、問題の解決・支援に向けてほしい」と呼び掛け。市主任児童委員の小野寺裕さんは、虐待の早期発見に向けた取り組みなどを報告しました。県立大学演劇部「劇団ちゃねる」は子ども虐待対応劇を上演。熱のこもった演技で、子育てを地域で支えることの必要性を訴えました。

歌って笑って年忘れ

侍浜デイサービスで初の演芸会

4月に市から侍浜福祉会に運営が移った侍浜デイサービスセンターで12月7日～11日、第1回演芸会が開かれました。職員のほか各地区婦人会も日替わりで参加し、歌や踊りで利用者を楽しませました。

12月9日は外屋敷婦人会の出番。はじめに久慈義昭施設長が「一年の苦労や嫌なことを忘れて楽しんでほしい」とあいさつし、演目が始まりました。美しい舞のほか衣装した職員の愉快的な踊りも披露され、会場は拍手と笑い声でいっぱい。同センターを利用する福田ツヨさん（侍浜町）は「にぎやかで本当に楽しい。毎日でも良いくらい」と大喜びしていました。



利用者もうっとり。外屋敷婦人会が美しい舞を披露 左上/笑いあり感動ありの演目に拍手を送る利用者

集って高まる市民の力

県北☆市民活動フェスタin久慈



パネル展では山根町端神地区を「別嬪村」と名付けた俳優の森繁久弥さん(故人)をしのぶ山根六郷研究会の資料も展示 右下/市民の力を力説した新田さん

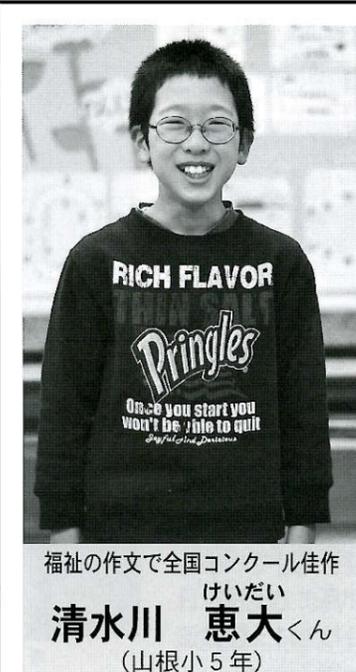
市民活動の盛り上げを図る県北☆市民活動フェスタin久慈（やませデザイン会議など主催）は12月5日、中央公民館で開催。参加した約200人が、事例発表やパネル展示、講演などを通して活動の必要性を再確認しました。大川目町まちづくり協議会、山形町繁地区の山野食の会も市外の団体とともに事例発表。元気な地域の姿が紹介されるたびに会場の熱気はどんどん高まっていきました。

講演で市民パワーの大きさを力説した(有)プランニング開の新田新一郎代表は「岩手は人の宝庫。どんどん活動を広めて」とエールを送っていました。



上/「心の輪を広げる体験作文」全国コンクールの盾とメダル
下/来未ちゃんから届いた手紙。心を込めて手紙を交わしました

優しさつづつって全国入賞
自分も何かをしてあげたい



福祉の作文で全国コンクール佳作
けいだい
清水川 恵大くん
(山根小5年)

障 がいがある盛岡市の小学生、来未ちゃんとの交流をつづつた作文で、清水川恵大くん(山根小5年)が「心の輪を広げる体験作文」県コンクールで見事、最優秀賞を獲得。全国コンクールでも佳作に入賞し、12月3日、内閣府から表彰されました。

来未ちゃんとの交流が始まったのは平成20年の春のこと。盛岡から風に乗る、山根町まで飛んできた青い風船を清水川くんが見つけたのがきっかけでした。「風船に願いごとが結ばれていたのが気になった。持ち主を調べ、どきどきしながら初めての手紙を

書くことにした」。自己紹介や互いの応援など、手紙のやり取りを進めるにつれて、心と心が徐々に近づいていきました。来未ちゃんからは「手紙をもらうようになって元気になった」と感謝の気持ちも寄せられました。

そして今夏、来未ちゃんから久慈に行くとの連絡がありました。「やっと会える。本当にうれしかった」。清水川くんは張り切って学校や地域を紹介する手紙を送りました。

しかし待ちに待った当日、清水川くんは緊張してなかなか話す言葉が出てきません。心なしか来未ちゃんの表情も硬かったといいます。清水川

くんは「あまり話せなかつたけど、来未ちゃんの体を心配しながら優しく車いすを押した。困った人に会ったとき、自分は何ができるかを考えるようになった」と話します。

「自分も何かをしてあげたい」。そんな清水川くんの思いは来未ちゃんとの初対面で、より強くなったのです。

大切に貴重な心のふれあいを盛岡から運んで来てくれた青い風船。清水川くんは「あの時、風船を見つければ良かった」と、にこりとほほえみます。「また来未ちゃんに手紙を書こうかな」。清水川くんの笑顔は今日も優しさであふれています。

開催 もぐらんぴあ出張水族館

間近の魚に大興奮!

もぐらんぴあ出張水族館は11月30日、久慈湊小学校(村上悦夫校長・児童247人)の1年生41人を対象に開かれました。

子どもたち。もぐらんぴあの山崎毅館長が「みんなに魚に触れて感触を知ってほしい。もつと魚を好きになつてくれれば」と呼び掛け、ふれあい体験が始まりました。

今回、持ち込まれたのは人の皮膚の角質を食べるドクタイフィッシュや、生きた化石と呼ばれるカプトガニ、水上を飛び跳ねる習性があるトビハゼなど17種類。子どもたちは水槽に顔がつくほど近づいてじっくり観察したり、ウニ



「うっわーおっきい!!」間近で見るヒトデに大さわぎ



説明を聞く表情も真剣 人気のドクターフィッシュ オマールエビに釘付け

やネコザメなどに触って、魚の感触を楽しんでいました。間近の魚たちに大喜びしていた樋口竜己くん(同小1年)は「ドクターフィッシュがかわいい。手をつつかれるのが気持ち良かった」と笑顔。大崎輝紅ちゃん(同は「トビハゼのジャンプを見てびっくり。今回で魚のことがもつと好きになった。今度は家族でもぐらんぴあに遊びに行きたい」と大はしゃぎしていました。

出張水族館は今回で6回目。毎年1回、市内の小学校などを訪問して開催しています。

読書感想文コンクール受賞者を紹介



第4回市読書感想文コンクールの表彰式は12月6日、市立図書館で開かれました。各賞の受賞者は次のとおりです。(敬称略。受賞者は最優秀賞、優秀賞、奨励賞の順に掲載)

▶小学校低学年の部=◇下國蘭(小国小2年)◇佐々木晃誠(久慈小2年)◇川代綾音(枝成沢小2年)▶同中学年の部=◇嵯峨優人(宇部小4年)◇八重樫雅香(同3年)◇浜坂愛海(待浜小4年)▶同高学年の部=◇赤平悠実(宇部小6年)◇障子上甲斐(山根小6年)◇立石貴士(同5年)▶中学校の部=◇高屋敷琴奈(久慈中3年)◇大石里美(山根中2年)◇佐々木裕佳(久慈中1年)▶高等学校の部=◇反町敏宏(久慈高2年)◇西村美咲(同)◇高山里美(久慈東高3年)

心込めた陶器 長内校が寄贈



入所者が見守る中、湯飲みを優しく手渡す千代窪くん(右)

久慈高校長内校(須貝竹志校長・生徒69人)は12月3日、養護老人ホーム養寿荘に小久慈焼の湯飲み約60点を贈りました。湯飲みは、体験学習の一環として生徒が一つ一つ心を込めて作ったもの。同校が小久慈焼の陶器を高齢者施設に贈るのは今回で4回目となります。

入所者に湯飲みを手渡した生徒会長の千代窪那宏くん(2年)は「喜んでもらえる自分もうれしくなる。来年も寄贈を続けられれば」と意欲を見せていました。

子育て支援センターだより

TEL 52-3210

- 1月後半～2月前半の予定■
- ◎1/20(水) 絵本の読み聞かせ 10:30～11:00
 - ◎1/25(月) 園開放「小久慈保育園」10:00～11:30
 - ◎2/2(火) 季節の遊び「節分」 10:30～11:30
 - ◎2/3(水) 赤ちゃんサロン 13:30～15:30
 - ◎2/10(水) ひよこ教室 10:00～12:00
 - ◎2/11(木) うさこちゃんの部屋 11:00～12:00

■利用案内■
◇対象…就学前の児童とその保護者◇利用時間…毎週月～金曜日、8時30分～17時(土曜日は8時30分～13時30分)◇お休み…土曜日の午後、日曜日、祝祭日
※年始は1月4日(月)から開館◇利用料…無料

子育て支援センターは赤ちゃんとお母さんのコミュニケーションの場です。育児相談も受け付けています。どうぞ気軽にお越しください。

図書館だより

今月のオススメ図書

《市立図書館》 「くまさんのずぼん」
柴野民三 原作 いもようこ 絵
ひかりのくに
クマのズボンが短くなることになった洋服店のタヌキ。他の動物に断られ、困ったタヌキは自分でズボンを直しますが…。心の通い合いの難しさを愉快地表現した物語。

《山形図書館》 「ほらふきじゅうたん」
デイヴィッド・ルーカス 作
なががわちひろ 訳
偕成社
今年のえと「トラ」にまつわる不思議なお話。屋敷の中、長い眠りからさめた女の子の像にトラのじゅうたんが語りかけます。信じ、創造することをめぐる物語です。

■休館日…月曜日、祝日(祝日が月曜日に重なる場合は翌日)、毎月末日 ※年始は1月5日(火)から開館。1/31(日)は臨時開館します

《市立図書館》 ☎53-4605
■開館…9時～18時(土日は17時まで)
●冬休みおすすめ本展…冬休みの課題に最適な本を展示・貸し出し 開催中～1/24(日)
●図書館映画会…図書館映画会…「6にんのごうけつ」などを上映 1/9(土)10:00～②15:00～
●チビッコの部屋…絵本や紙芝居の読み聞かせを行います ①1/9(土)14:00～②1/24(土)14:00～

《山形図書館》 ☎72-3711
■開館…10時～18時
●企画展・千支の図書展…1/6(水)～20(水)

読書は家族のコミュニケーションの一つです。家族で本を読み、感想を話し合いたい

暮らしの 情報

このページでは、くらしに役立つ情報をお知らせします。

- ★本庁舎 ☎52-2111
- ★山形総合支所 ☎72-2111
- ★宇部支所 ☎56-2111
- ★侍浜支所 ☎58-2111
- ★山根支所 ☎57-2111

※市役所の各課の番号は直通電話です。また、上記の代表電話からもつながります

お知らせ

地デジ大川目中継局で放送開始

政策推進課 ☎52-2115

12月17日から地上デジタル放送久慈大川目中継局で試験放送が開始。本放送開始は1月下旬の予定です。

アナログ放送終了まで約1年半。地上デジタル放送に早めに移行願います。

消防出初め式を開催

消防防災課 ☎52-2173

- ▶日時=1月11日(月)8時45分~
- ▶会場=アンバーホール

分列行進(10時~11時ころ)に伴い市街地で交通規制が行われます。皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

盛岡で消費生活展を開催

県民生活センター ☎019-624-2586

賢い消費者になるためのパネルディスカッションやクイズ大会、ふるしき活用講座なども行います。

- ▶期間=1月15日(金)・16日(土)
- ▶会場=アイーナ(盛岡市)

固定資産税の償却資産申告

税務課 ☎52-2114

平成22年1月1日現在で市内に事業用償却資産を所有している方は申告が必要です。申告期限は2月1日(月)まで。お早めをお願いします。※居宅、物置、車庫などを取り壊したときは家屋取壊届出を税務課に提出ください。

えるたっくす 1/18「eTAX」のサービス開始

エルタックスとは地方税の手続きをインターネットで行うシステムのことで、1月18日(月)から個人市民税(給与支払報告書など)、法人市民税、固定資産税(償却資産)について、電子申告受け付けを開始します。詳しくはエルタックスHP(<http://www.eltax.jp/>)をご覧ください。

要チェック!最低賃金

岩手労働局賃金室 ☎019-604-3008

最低賃金名	時間額	発効日
岩手県最低賃金	631円	平成21年10月4日
鉄鋼業	715円 日額5,714円	平成21年12月10日
自動車小売業	713円	
鉄鋼業、金属線製品、 その他の金属製品製造業	704円	
光学機械器具・レンズ・時計・同部品製造業	692円	平成21年12月30日
電子部品・デバイス・電子回路・電気機械器具製造業	688円	
各種商品小売業	700円	平成22年3月1日

みんなで促進!八戸・久慈自動車道

久慈商工会議所 ☎52-1000

八戸・久慈自動車道整備促進住民大会を開催。特別講演や意見発表を行います。みんなで参加し、整備に向けた地域の思いを届けましょう。

- ▶日時=1月16日(土)13時~15時
- ▶会場=アンバーホール

インフル予防接種の助成を延長

保健推進課 ☎61-3315

65歳以上の方を対象とした季節性インフルエンザ予防接種費用の助成期間を2月末までに延長しました。予防接種を受ける際は、事前にワクチンの在庫を次の医療機関にご確認ください。

【接種可能な医療機関】
◇市川内科(☎53-2010) ◇金子クリニック(☎61-1005) ◇久慈恵愛病院(☎52-2311) ◇齊藤内科(☎53-3511) ◇しりと内科(☎61-3330) ◇ちだ医院(☎61-3366) ◇山形診療所(☎72-2033)

地域の医療考えよう

久慈医学談話会(久慈病院内) ☎53-6131

市民、病院、行政が一緒になって医療の課題や未来を考える「久慈地域医療懇談会」を開催。それぞれの代表が発表し、討論するシンポジウムを行う予定です。多数ご参加ください。

- ▶日時=2月5日(金)17時~19時
- ▶会場=アンバーホール

新農業人フェアで就農相談

岩手県農業公社 ☎019-623-9390

農業を始めるにあたって、就農地域の紹介や農地の確保、資金の調達など、個別に相談を受け付けます。参加は無料。気軽にご参加ください。

- ▶日時=1月9日(土)11時~15時
- ▶会場=アイーナ(盛岡市)

本波地区の県道が一部完成

振興局土木部 ☎53-4990

改良工事を進めていた県道侍浜夏井線本波地区の一部が完成。12月28日から北側交差点から約600m(延長2,000m)が通行できるようになりました。旧道と接続する区間が狭くなっています。通行の際はご注意ください。

募集

消防職員を募集(若干名)

久慈広域連合総務企画課 ☎61-3344

平成22年度に採用する消防職員の試験を行います。

- ▶受験資格=昭和58年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた方(ほか身体条件あり)
- ▶第1次試験=1月31日(日)・市防災センター
- ▶申込受付=1月4日(月)~19日(火)

売りたい・貸したい空き家募集

交流促進課 ☎52-2168

市内にある空き家の有効活用を通し、移住を考えている方を支援する「空き家バンク」を開設します。売りたい物件、貸したい物件をお持ちの方はご連絡をお願いします。※随時募集中です

市営住宅空き家あります

建築住宅課 ☎52-2120

山形総合支所産業建設課 ☎72-2129

住宅名	戸数	家賃(月額)
川井団地	3戸	2,900円~4,900円
宇部和野平地区住宅	1戸	2,000円~3,000円
萩ヶ丘地区住宅	1戸	3,600円~5,400円

※家賃は収入に応じて算定します
▶申し込み=1月15日(金)まで

講習会でCADをマスター

市雇用開発促進協議会 ☎66-8167

設計作業などを行うCADシステムの講習会を開催。受講料は無料。1月29日(金)までに申し込みください。

開講日	時間	定員
2/9(火)~3/3(水)	昼14時~17時 昼・夜	各10人
毎週火・水曜日	全8回 夜18時~20時45分	各10人

九戸地方育英会の奨学生を募集

総務学事課 ☎52-2154

- ▶応募資格=久慈管内に本籍があり、教員を目指して4年制大学などに入学見込み(在学中)の方
- ▶奨学金=月額3万円
- ▶申し込み=3月26日(金)まで

ご厚志ありがとうございます

夏井小が福祉事業団に寄付



山内市長に寄付金を手渡す児童会長の川代拓海くん(6年)

夏井小学校児童会とPTAは12月1日、毎年行っている廃品回収の3年分の益金47,910円を市社会福祉事業団(理事長・山内隆文市長)に寄付しました。寄付金を充てて購入したスィング式車いす1台は、ぎんたらず久慈で大切に使われています。

廣崎春實さんが帆船模型を寄贈

廣崎春實さん(宇部町・写真右)は12月8日、約1年掛かりで完成させた帆船模型「海王丸」(写真左)を市に寄贈しました。模型はすべてが手作り。細かいところにまで手が入られた見事な出来栄の模型は現在、市役所1階の市民ホールに展示しています。皆さんもぜひご覧ください。



おめでた・おくやみ

11/16~12/15届け出分(敬称略)

♥おめでとう ()内は旧姓

〔久慈地区〕▷煙山繁則・江世(阿部)▷野中昭伸・アサ子(岩脇)▷中田大・優子(大貫)▷岩脇幸治・愛(笠井)
〔長内・小久慈地区〕▷宮川裕嗣・瑛美(菊地)
〔山形地区〕▷小笠原賀之・沙也佳(下館)

◇誕生おめでとう ()内は保護者名

〔久慈地区〕▷下嶺拓也(和也)▷佐々木愛華(健晴)▷稲葉伽月(隆行)▷福田万里央(信朗)▷柴田知暁(知毅)▷大澤空珠(重城)▷山崎頼唯(大輔)▷米田駿(和広)▷澤口魁治(明博)
〔長内・小久慈地区〕▷柿木笑里(勇樹)▷一本木大陸(浩行)▷廣崎蓮(悠也)▷内城祐輔(友彦)
〔夏井地区〕▷日當創元(栄樹)
〔宇部地区〕▷川平紗愛(雄太)
〔侍浜地区〕▷菅原秀斗(秀紀)
〔山形地区〕▷大畑寧々(和也)▷大畑綺々(和也)▷清水川結実(智)▷砂川大蘭(利男)

◆おくやみ申し上げます ()内は年齢

〔久慈地区〕▷木下正久(65)▷佐々木アイ(78)▷小山里美(38)▷晴山ハチエ(92)▷田家ハツエ(92)▷外里力(38)▷岩崎ヨシ(94)▷峠崎善男(80)▷小山隆蔵(80)▷近藤一郎(86)
〔長内・小久慈地区〕▷伊並はる子(71)▷田高マサノ(81)▷宮澤秀男(74)▷柏木清四郎(97)▷石川義弘(90)▷小屋畑ヤエ(81)▷外野巖(76)▷三浦卓美(54)
〔大川目地区〕▷藤森キノエ(86)▷大下正雄(67)▷大友勝正(70)▷砂子善助(74)▷三上重蔵(85)▷村田良一(94)
〔夏井地区〕▷三上スエ(84)▷松前敏美(58)
〔宇部地区〕▷大澤廣(70)▷澤里銃太郎(71)▷大下尚人(68)
〔侍浜地区〕▷野場ハジエ(96)▷中居浩(74)
〔山根地区〕▷八屋保雄(73)

1枚のべっぴんカードから夢が生まれる

べっぴん感謝祭

売出期間 平成22年1月12日(火)まで

特等	現金	50,000円	10本
1等	べっぴん商品券	10,000円	30本
2等	べっぴん商品券	5,000円	50本
3等	べっぴん商品券	3,000円	400本

協同組合 久慈ポイントカード会

〒028-0065 久慈市十八日町二丁目14番地
TEL 53-2000 FAX 53-3364(日専連久慈)

子育て世代を 応援する家

「琥珀の家はエコポイント対象住宅です」

新中の橋地区で新築中

「琥珀の家サイト」オープンしました。アクセスしてください。
URL:<http://www.todate-komuten.com> E-mail:info@todate-komuten.com

東北電力推奨電化住宅施工店
久慈市興町1丁目34
外館工務店 ☎53-5069

エコポイントで、 「べっぴん商品券」と交換できます。

グリーン家電 エコポイント

商品券	ポイント数	商品コード
1,000円分	1,000点	1000
5,000円分	5,000点	5000
10,000円分	10,000点	10000
20,000円分	20,000点	20000
30,000円分	30,000点	30000

事業者コード A192 べっぴん商品券

協同組合 日専連久慈

TEL 53-2000
久慈市十八日町二丁目14番地
営業時間/9時~18時 土・日・祝は休業

真心をこめた料理をお届け致します。

《各種仕出し料理承ります》
祝膳・仏膳・折詰・弁当・オードブル・寿司
(御予算に合わせてご用意させていただきます。)
お気軽にお電話ください。

おおみ屋

久慈市長内町34-26-1
TEL 0194-52-1155

自信作ここに完成

市民おらほーる劇場「煉獄のSAKURA」

演技迫真

誘う感動



- 1 / 感動のラストシーン。火事で焼けた桜の木を前に、みんなの気持ちが一つにつながります
- 2 / 今か今かと開演を待つ大勢の観客
- 3 / 涙の感動だけじゃない！笑いのツボもしっかり押さえています
- 4 / 家族などの人間愛も一つのテーマ。変化する人間模様に目が離せません
- 5 / 元気な子役たちも大活躍。歌にダンスに大暴れます。初挑戦の「ラップ」は必聴必見です！



市民が手作りの演劇を披露する第3回市民おらほーる劇場「煉獄のSAKURA」の第1回公演は12月13日、おらほーるで開かれました。総勢20人の出演者は、プロ顔負けの迫真の演技で約300人を感動の渦に巻き込みました。

今回の演劇は昭和20年4月に旧久慈町で起きた久慈大火をもとにしたもので、悲惨な火事をきっかけに、つながっていく人間模様が描かれています。1月17日の第2回公演に向けて、脚本・演出の、こむろこうじさんは「新しい要素を盛り込んだ久慈オリジナルの演劇。ぜひ観にきてほしい」と自信作をPR。皆さんぜひご鑑賞ください。

第2回公演
1/17(日)
開場 16:30 開演 17:00
アンバーホール 小ホール

		入場料	
一般	前売	800円	
	当日	1,000円	
高校生以下	前売	400円	
	当日	500円	

問い合わせ おらほーる
はこちらへ (☎72-3711)



まな
馬内愛ちゃん (3歳)
馬内実さん、ゆかりさんの三女 (小久慈町)

こと は
成田琴葉ちゃん (右・5歳)
あい か
成田愛花ちゃん (左・3歳)
成田輝美さん、幸子さんの長女と次女 (小久慈町)



未就学の子どもの写真を募集します。写真と子どもの氏名などを添えて、広報くじ担当(☎52-2116)に応募ください。写真はお返しします。

編集後記

▶明けましておめでとうございます！平成21年も皆さんに大変お世話になりました▶今回の表紙も皆さんの協力のおかげです。丸めた頭に無駄に長いもみあげ。そんなわたしの撮影交渉にもかかわらず、すてきな笑顔を見せてくれた皆さん、本当にありがとうございます！皆さんの笑顔に出会って今年に向けた元気がわいてきました！▶思えば、わたしの平成21年はジーンズのお尻を破いて幕を開けました。平成22年も何が起こるか分かりませんが、今年もまた皆さんの笑顔や頑張っている姿を追いかけていきたいと思えます▶皆さんにとって平成22年が良い年になることを心からお祈りいたします。今年も「広報くじ」をどうぞよろしく願います！（八重桜）

Interview



鳥肌が立ちました！
成谷茂樹くん 谷地一樹くん (山形中1年)

みんな演技がうまかったです。せりふも声が張っていて鳥肌が立ちました。特に最後のシーンは感動ですね！



感動で涙が出ました
国丹照子さん (夏井町)

出演した2人の孫も上手に演技していました。久慈大火も思い出されましたね。演劇に関心。涙が出ました。



転動してきて初参加
(足の不自由な娘の父役)
野中喜隆さん (門前)

成功は裏方さんやスタッフみんなのおかげです。第2回公演は精度もよりアップ！ご期待ください！



際立った演技力
(足の不自由な娘役・中央)
佐々木響子ちゃん (久慈小5年)

前回の出演より、せりふが増えて覚えるのが大変でした。次はもっと感情を込めて役になりきりたいです！